

# 外国語科

## I ドイツ語の学習目標

- (1) 外国語の学習を通じて、外国語とその外国語が使われている文化背景について学ぶ。
- (2) 外国語の学習を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育てる。
- (3) 外国語の学習を通じて、情報や意向を理解し、自己表現する実践的なコミュニケーション能力を身につける。

## II ドイツ語科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	開講しない	開講しない
	2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツ語の初歩（アルファベット、発音等）を学習し、基本的な挨拶、自己紹介、初歩的な日常会話ができるようにする。</li> <li>・ドイツの歴史、文化、実情に触れることで、ドイツ、さらにはヨーロッパ、世界への関心を呼び起こす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTによる発音練習、聞き取り演習。</li> <li>・小テスト、単語ゲームなどで学習した単語の定着。</li> <li>・自己紹介原稿など、基本的な文を書けるようにする。</li> <li>・スピーチ、ドラマの台詞などを暗唱し、発表する。</li> <li>・DVDあるいは講師を招いて、ドイツ文化（音楽、食、スポーツ等）に親しむ。</li> </ul>
	3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学二年生で学んだドイツ語をさらに発展させて学習し、日常会話等ができるようにする。</li> <li>・正しい発音、基本的文法事項を徹底する。</li> <li>・ドイツの過去と現代、ドイツ文化の特徴を学び、その知識を深める。</li> <li>・ドイツ、ヨーロッパ、世界への関心を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ教材の活用など聞き取り練習</li> <li>・語彙を増やす。</li> <li>・スキットの作成、発表</li> <li>・文法、語法の演習</li> <li>・日記を書き、少しまとまった文を書けるようにする。</li> <li>・暗唱など口頭発表活動</li> <li>・副読本を読む</li> </ul>
高校段階	4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学で学んだドイツ語をさらに発展させて学習し、日常会話等から実際に使うことができるドイツ語ができるようにする。</li> <li>・ドイツの歴史と現代のドイツ、ドイツ文化の特徴を学び、その知識をさらに深める。さらに自ら考え表現する能力と態度を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションを中心とした発展的活動</li> <li>・文法、語彙、表現力を強化する活動</li> <li>・副読本を読む</li> <li>・聴解力強化</li> <li>・スピーチ、ダイアログを行う</li> </ul>
	5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学で学んだドイツ語をさらに発展させて学習し、日常会話等から実際に使うことができるドイツ語ができるようにする。そこから自分の意見を表現できるようにする。</li> <li>・ドイツの歴史と現代のドイツ、ドイツ文化の特徴を学び、その知識をさらに深める。さらに自ら考え表現する能力と態度を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションを行う</li> <li>・やさしいニュースを聞く</li> <li>・文法、語彙、表現力を強化する活動</li> <li>・副読本を読む</li> <li>・聴解力強化</li> <li>・スピーチ、ダイアログを行う</li> </ul>
	6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試(共通テスト・私大入試)で扱われている外国語科目に対応できるだけの能力をつける。</li> <li>・大学入試問題(採用している大学のみ)などの演習を実施【長文理解に加えて、背景を学ぶ】 【いろいろなテーマについて内容豊かに描く】 【話し合ったり、討論したりする】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文法、語法、構文の演習</li> <li>・語彙増強</li> <li>・読解力の向上</li> <li>・リスニングテストで聞き取り練習</li> <li>・各自の必要に応じた力の伸長</li> <li>・プレゼンテーションを行う</li> </ul>

\* 高校生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 外国語  
 科目名 ドイツ語  
 対象 2学年選択

I 学習到達目標

- 1 ドイツ語への関心、学習意欲を呼び起こす。
- 2 初歩的なドイツ語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。
- 3 ドイツ語の基本的表現を学習し、それを使って言いたいことを相手に伝えたり、相手の意見を聞いたりする能力を身に付ける。
- 4 ドイツ語が使われている国の人々や生活について学習し、日本との違いや共通点を理解する。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 2クラス4展開で選択授業を行う
- 2 副教材を活用し基礎を固めるとともに発展的な学習を行う。
- 3 定期的に単語テストや小テストを行い、基礎文法事項の定着をはかる

III 教科書・補助教材

教科書 なし  
 補助教材 新装版・話すぞドイツ語！（在間進、朝日出版社）

IV 学習計画

学期	月	学習内容		授業時数	備考
		考査	「教科書」の学習内容		
一学期	4	授業内 考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツ語の学習の仕方。</li> <li>・ドイツ語のアルファベット、発音を学ぶ。</li> <li>・スペルと発音</li> <li>・基本的なあいさつ・自己紹介をする。</li> <li>・ドイツの基本的情報について学ぶ。</li> <li>・基本文型について学ぶ。</li> </ul>	30	
	5				
	6	授業内 考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・100までの数字を学ぶ。</li> <li>・曜日、月、年に関する表現を学ぶ。</li> <li>・動詞の人称変化（規則変化）、語順を学ぶ。</li> <li>・疑問文の作り方、答え方。</li> </ul>		
	7				
	夏休み 宿題		1学期の復習（自己紹介）	プリント	
二学期	9	授業内 考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞を学ぶ。</li> <li>・天気、色や形を表す表現を学ぶ。</li> <li>・形容詞を学ぶ</li> </ul>	30	
	10				
	10	授業内 考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞の格を学ぶ</li> <li>・値段のきき方、答え方を学ぶ。</li> <li>・短い作文に挑戦する。</li> </ul>		
	11				
	冬休み 宿題		1～2学期の総復習（単語）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語プリント（約250語）</li> <li>・文法プリント</li> </ul>	
三学期	1	授業内 考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や友達を紹介する。</li> <li>・道の尋ね方・教え方。乗物を使う場合の表現。</li> </ul>	18	
	2				
				計 78	
評価	以下の観点を総合して評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テストや毎学期の期末試験により、知識・理解度をみる。</li> <li>・ドイツ語での発表活動や課題提出などを通し、表現能力や学習意欲をみる。</li> <li>・期末試験や授業態度などで、ドイツ語や文化についての知識・理解度をみる。</li> </ul>				

教科名 外国語  
 科目名 ドイツ語  
 対象 3学年選択

I 学習到達目標

- 1 中学1年間で習得したドイツ語の知識をより確かなものとしていく。
- 2 ドイツ語の基本的な表現を学習し、書く力、読む力、話す力をやしなう。
- 3 ドイツ語圏の国々の歴史・文化・政治・習慣などについての知識と理解を深める。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 2クラス4展開で選択授業を行う。
- 2 ドイツ語での挨拶、自己紹介、基本的表現などを、言ったり書いたり聞き取ったり出来るように繰り返し練習する。
- 3 定期的に単語テストや小テストを行い、基礎文法事項の定着をはかる。

III 教科書・補助教材

教科書 なし  
 補助教材 ゲナウ！コミュニケーションのドイツ語 ノイ（新倉真矢子他、第三書房）

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	4	授業内 考査	復習と確認 (動詞の現在人称変化、名詞の性、定冠詞・不定冠詞、代名詞、複数形)	30	
	5		4不定冠詞・否定冠詞の4格		
	6	授業内 考査	5所有冠詞と人称代名詞の1格・4格		
7	6不規則変化動詞の現在形、命令形				
	夏休み 宿題		不規則動詞の変化を暗記		
二 学 期	9	授業内 考査	7 話法の助動詞	30	
	10		8 3格支配の前置詞①、3格の人称代名詞		
	10	授業内 考査	9 3・4格支配の前置詞、3格支配の前置詞②		
	11		10分離動詞, zu不定詞、再帰代名詞		
	冬休み 宿題		1・2学期の復習、短文読解、単語の暗記		
三 学 期	1	授業内 考査	11過去形、現在完了形	18	
	2		12従属の接続詞、比較級・最上級、非人称表現		
				計 78	
評 価	以下の点から総合的に評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎学期の授業内考査により、知識・理解度をみる。</li> <li>・ドイツ語で自己紹介の文を論理的かつ物語的に作成して発表することにより、思考・判断・表現の能力をみる。</li> <li>・小テストや課題提出などを通して、学習意欲をみる。</li> <li>・ドイツの文化に関して自ら調べることを通じて、主体的に学習に取り組む態度を醸成する。</li> </ul>				

教科名 外国語  
 科目名 ドイツ語 (初中級)  
 対象 4 学年自由選択

I 学習到達目標

- 1 中学2年間で習得したドイツ語の知識をより確かなものとしていく。
- 2 ドイツ語の基本的な表現を学習し、それを使って言いたいことを相手に伝えたり、相手が伝えようとしていることを理解する能力を身に付ける。
- 3 ドイツ語圏の国々の歴史・文化・政治・習慣などについての知識と理解を深める。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 週1回2時間で選択授業を行う。
- 2 ドイツ語での挨拶、自己紹介、基本的表現などを、言ったり書いたり聞いたり出来るように繰り返し練習する。
- 3 定期的にテストを行い、基礎文法事項の定着をはかる。

III 教科書・補助教材

教科書 (準教科書) ゲナウ! コミュニケーションのドイツ語 ノイ (新倉真矢子他、第三書房)  
 補助教材 なし

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
			なし	なし	
一 学 期	4	授業内 考 査	中学の2年間で学んだこと、特に補助教材第7課の復習と確認	文法・語彙・表現力・読解力 発音練習 ドイツの文化や歴史	30
	5		第8課：休暇の予定が言える、話法の助動詞		
	6 7	授業内 考 査	第9課：贈り物をする 洋服が買える 3格/3格支配の前置詞①/ 3格の人称代名詞		
	夏休み 宿 題		補助教材練習帳	不規則動詞の現在人称変化を暗記	
二 学 期	9 10	授業内 考 査	第10課 ・自分の1日の行動が表現できる ・時刻が言える ・分離動詞/zu 不定詞/再帰代名詞	文法・語彙・表現力・読解力 発音練習 ドイツの文化や歴史	30
	10 11		授業内 考 査		
	冬休み 宿 題		補助教材練習帳	短文読解	
三 学 期	1 2	授業内 考 査	第12課 ・天候に関する表現が言える 従属の接続詞/比較級・最上級/非人称表現	文法・語彙・表現力・読解力 発音練習 ドイツの文化や歴史	18
				計 78 (2単位)	
評 価	以下の点から総合して評価する。 ・毎学期の定期考査により、知識・理解度をみる。 ・ドイツ語での簡単な発表活動を通し、表現の能力をみる。 ・小テストや課題提出などを通して、学習意欲をみる。 ・小テストや定期考査などで、ドイツ語やドイツ語圏の国々の文化についての知識・理解をはかる。				

教科名 外国語  
 科目名 ドイツ語 (中級)  
 対象 5 学年自由選択

**I 学習到達目標**

- 1 ドイツ語の基本的な文法を復習して理解を定着する。
- 2 3年間学んだ中で未履修な部分(文法)を学習する。
- 3 ドイツ語のテキストを読む力を身に付ける。
- 4 ドイツの文化やドイツ人の気質などについて学び、知識を深める。

**II 授業の進め方(授業形態等)**

- 1 週1回2時間で選択授業を行う。
- 2 今まで学習してきた文法の理解度を確認する。理解が不十分な分野は再度詳しく説明する。
- 3 定期的に単語テストや小テストを行い、基本的な文法事項の定着をはかる。

**III 教科書・補助教材**

教科書(準教科書) クロイツング・ネオ(小野寿美子 他、朝日出版社)  
 補助教材 なし

**IV 学習計画**

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題				
	4	授 業 内 考 査	復習 動詞の現在人称変化、人称代名詞、語順、 名詞の性と格変化(1, 4格)など	発音練習。 基本文型の習得。	3 0
	5		L4 不規則動詞の現在人称変化 命令形		
	6		L5 不定冠詞類 所有冠詞、否定冠詞kein、 定冠詞類 welcher, dieserなど		
7	L6 前置詞 分離動詞・非分離動詞	発音練習。 基本文型の習得。 ドイツ圏の国々の文化、ドイツ人の 性格などを紹介			
夏休み 宿 題		文法の復習			
二 学 期	9	授 業 内 考 査	L8 動詞の3基本形 副文(従属文)	発音練習・聞き取り練習。 基本文型の習得。 表現力を付ける。	3 0
	10		L9 zu不定詞句の用法 再帰代名詞、再帰動詞		
	10 11	授 業 内 考 査	L10 形容詞の格変化 形容詞・副詞の比較表現 L11 関係代名詞、指示代名詞		
冬休み 宿 題	宿 題 テ ス ト				
三 学 期	1	授 業 内 考 査	L12 受動態 接続法Ⅱ式	発音練習・聞き取り練習。 基本文型の習得。 表現力を付ける。	1 8
	2				
				計 7 8 (2 単 位)	
評 価	以下の点から総合的に評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎学期の授業内考査により、知識・理解度をみる。</li> <li>・ドイツ語で自己紹介、他己紹介の文を論理的かつ物語的に作成して発表することにより、思考・判断・表現の能力をみる。</li> <li>・小テストや課題提出などを通して、学習意欲をみる。</li> <li>・ドイツ語やドイツの文化に関して自ら調べることを通じて、主体的に学習に取り組む態度を醸成する。</li> </ul>				